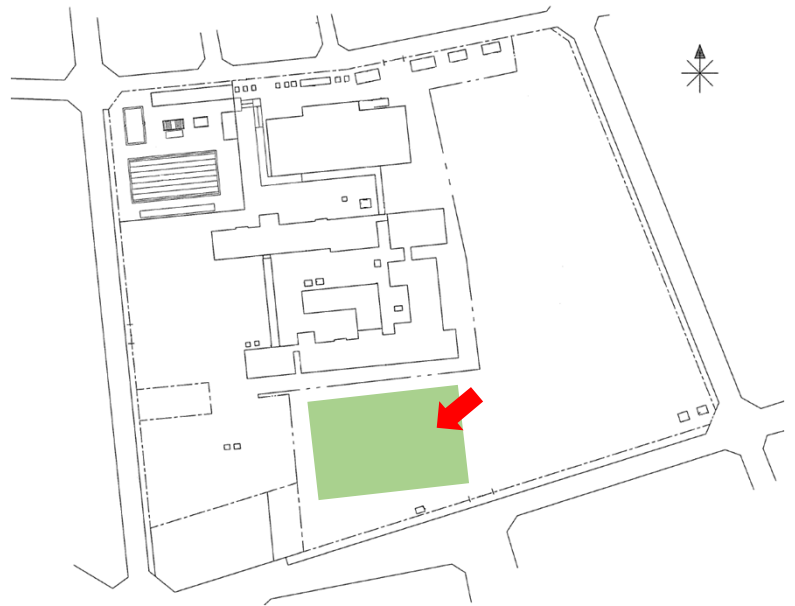


高崎市立中居小学校での芝生化の取組について

1. 概要

- ・南校庭の約1000㎡を芝生化
- ・芝植えや維持管理に地域住民が協力
- ・芝生化には、成長が早く、損傷してもすぐに回復する西洋芝「ティフトン」のポット苗を使用



2. 実際のスケジュール

		4月			5月			6月			7月			8月			9月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
芝 植 え	事前調査		○																	
	事前準備								○											
	芝植え作業									★										
維 持 管 理	散水										→ 散水栓整備	→ 1日 1～2回程度								
	施肥											→ 月 1～2回程度								
	芝刈り													→ 週 1回程度						
芝生の利用開始																			→	

3. 事前調査（4月中旬）



- ・児童が芝を植える南校庭の地面の様子を事前に調査した。

4. 事前準備（6月中旬）



- ・芝植え作業の事前準備として、ライン引きと穴掘り作業を行った。

やってみてわかったこと

- ・降雨や熱中症等を回避する目的で、芝植え作業は、6月上旬・中旬までに行った方が良いと感じた。

5. 芝植え作業（6月下旬）



- ・市教委、先生の指導のもと、地域住民も協力し、児童が苗を植えた。
- ・苗は西洋芝のティフトンで、1㎡あたり4株、計4000株を植えた。
- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、学年ごとに作業時間をずらした。

やってみてわかったこと

- ・児童にとって芝植えは難しい作業ではなく、想定していたよりも早く作業を終えた。
- ・苗を植える穴は、苗よりも少し深い10cm程度で十分であった。

6. 維持管理（散水）



- ・散水栓を整備し、散水機を購入した。
- ・休日や夏休みの散水は、地域住民の方にご協力いただいた。
- ・夏場は1日2回、それ以外は1日1回程度散水している。

やってみてわかったこと

- ・広範囲に散水可能な散水機の方が、維持管理がしやすい。

6. 維持管理（施肥）



- ・施肥は、県教育センターのハートフルサポートステーションのスタッフにご協力いただいている。
- ・月に1～2回実施している。

7. 維持管理（芝刈り）



- ・乗用芝刈り機を購入した。
- ・芝の様子を見て、週1回程度刈っている。

やってみてわかったこと

- ・1000㎡の芝刈りは、乗用芝刈り機を用いると40～50分で終了する。（手押し式では大変）

8. 芝生の利用開始（9月中旬）



- ・9月中旬から芝生の利用を開始した。
- ・芝の育成が早く、6月下旬の芝植えから3ヶ月弱で利用開始となった。
- ・昼休みや休み時間の遊びの場、低学年の体育の授業に活用している。

9. 中居小学校の声

- ・子ども達は、ふかふかな芝生の上で寝転んだり走り回ったりして遊んでいます。追いかけてっこをして転んでも痛くないし、けがをすることもほとんどありません。
- ・コロナ禍でも、子ども達が、笑顔で友達や先生方と和やかな時間を過ごす姿を見ると、校庭の芝生化をやってよかったなと感じました。